



田邊さんに行く！ 東北バス沢ツアー2014

## 北東北 八幡平 葛根田川北ノ又沢～秋取（明通）沢

松本

【日時】 2014年7月26日(土)～28日(月)

【メンバー】 L田邊、松本

田邊さんの夏の恒例・東北バス沢ツアーに今年も参加させていただいた。昨年の和賀・生保内川が初めてだったが、その前から続いている田邊さんの夏の行事のひとつらしい。夜行高速バスを利用するのも会社の慰安旅行っぽくて、楽しい。今回は田邊さん（社長）、寺内くん（専務）、私（秘書）の3人。バスやタクシーの手配を寺内専務にまかせて準備万端と思いきや、出発数日前に寺内くんが家の事情で不参加に！しかし、東北の沢旅&下山後の盛岡の街へ気持ちが高まっている田邊社長と私から「中止」という言葉はなく、予定どおり葛根田ツアーへ出発した。

7/25（金） 出発は池袋発 23時40分。池袋西口にある社長ご自慢・本物のビールが198円！の居酒屋へ集合した。見送りに営業マン吉澤くんが来てくれるという。待っていると冷房のきいた店内に汗だくの田邊社長登場。見ているだけで暑いので、さっそくキンキンのビールで乾杯。宴もたけなわ、バスはどこから出るんですかね？と切符を見せてもらうと、なんと反対の東口！吉澤くんと別れ、小走りに東口へと向かう。発着所に着いたのは出発15分前。またもや汗だく。私は寝酒を買いにコンビニへ。田邊さんはメのラーメンを食べに、道路向かいののれんをくぐった。

7/26（土） 朝6時30分ごろ、涼しい盛岡着。盛岡から雫石まで電車で移動する。雫石駅には寺内くんが手配してくれたタクシーが待っていた。しかし、駅舎内で田邊さんは「メールが繋がらない...」とipadを手をうろうろしている。朝までに会社にメールを送らなければいけないという。運転手さんもどうしたんだ？という顔つきでこっちを見ている。いたたまれない気持ちになり、「すみませんねえ」とお愛想を言い、世間話で場を取り繕っているところへ、ようやく社長登場。

9時30分ごろ、地熱発電所に到着。帰りも同じタクシーに乗るので余分な荷物は預かってもらうことにした。メール事件ですっかり出遅れてしまった田邊さんは、「あ、まだ着替えていない」と言うなり、服を脱ぎ出した。これには私と運転手さんは目が点。タクシーが去ったあとも、「これもいらなかった」とビニール袋を持っているので、そのへんの草の中に隠しておけば大丈夫ですよと言うと、草ぼうぼうの中へ田邊さんは消えた。「あそこなら絶対大丈夫だな」と自信満々だが、帰りに忘れなければいいけれど...。そんなこんなでようやく葛根田川に降り立った。幅が広く「川」である。下降の秋取沢を右に見ると、「明日はここかな」と幕場によさそうな場所を見て田邊さんは言う。明日は雨だからここまでは無理だと思いますが。



葛根田川は途中、葛根田大滝があるだけで登攀的な場所はないという。流れはゆったりとして、右に左に徒渉を繰り返す。ただ、葛根田川に流れこむ支沢はどれもが滝で、増水したら...と思うとちょっと怖い。「お函」と呼ばれるゴルジュに入ると溪相が変わって赤茶けた壁が迫り、いまは水量が少ないので難なく歩いているが、こども過去増水による死亡事故が起きている。

竿を出しながら田邊さんは先を歩く。ほかに人はいないし、ナメ床はきれいだし、気分がいい。やがてようやく滝らしい滝、葛根田大滝が見えた。これは直登できないので、右から巻く。登りにお助けロープがかかっていたが、必要なく登れる。大滝の先は河原が続く。今日は930m付近が幕営予定地だが、滝ノ又沢出合手前(900m付近)でいい場所を見つけてしまった。「ここよさそうですね」と言うと、田邊さんは出合まで行ったが、結局ここが今日の幕場となった。本日、田邊社長の釣果を私は蒲焼き、田邊さんはムニエルにして、おいしいおつまみとなった。

7/27(土) 予報通り、朝から冴えない空模様である。滝ノ又沢を左に見て、北ノ又沢に入る。これは降りそうだからさっさと進んだほうがよさそうと思っているところに田邊さんは釣竿を出した。次の二俣を左にとると、入口に大きな滝がお出迎え。巻いちゃおうかなあと見上げていると、「こんなの登れるよ」と田邊さんはさっさと登ってしまう。濡れたくないのに...と思いつつ、あとに続く(簡単でしたが)。その先は緩やかな流れのなかにナメ床の連続。もう魚影もないので歩みも速い。途中、忘れ物騒動があったが順調に八瀬森へ向けてつめていく。最後、右の支沢に入ると行く手を塞ぐ大きなスラブの壁が出てきた。田邊さんが取り付くが手がかりがないという。右から巻くが、泥と岩の壁はずるずる滑る。「こういう悪い巻きが飯豊の沢では当たり前なんだ」と田邊さん。私にそんな日が来るのだろうか...。源流の様相になり、適当に湿原に上がる。いよいよ雨は本降りになり、八瀬森避難小屋へ逃げ込む。雨宿りのつもりが濡れて寒い寒いと着替えてしまったのが運のつき。「明日早く出れば大丈夫」。悪魔のささやきに負けて、あえなく沈殿となった。

7/26(月) 3時起床、5時出発。天気は曇り。12時にタクシーを呼んでいるので、それまでに下らなければならない。登山道1283m地点から少し進んだ所から秋取沢へ下降を開始。ササヤブに入っていくクマ、いや田邊さんの後を追いかける。滝が出てきて、懸垂下降を2回、ほどなく秋取沢に合流した。碧い色の岩盤のナメ床が美しく、北ノ俣沢とはまた違った様相だ。「さすがに名渓だな」と田邊さんも感心している。830m地点の橋が見えた。ここからは林道をたどって、地熱発電所へ。林道といっても踏み跡程度のもので、背丈のヤブが覆い前をゆく田邊さんの姿は見えない。うねうね林道はやがて見覚えのある入渓地点に出た。草むらの隠しものを取り、滝ノ上温泉でタクシーが来るまでのんびりお湯に浸かり、2次会の会場、盛岡へ向かった。

【行程】7/26(土) 葛根田地熱発電所(9:30)～秋取沢出合(10:30)～お函(12:00)～大石沢出合(13:00)～中ノ又沢出合(14:00)～葛根田大滝

(15:00) ~900m 付近 C1 (15:45)

7/27 (日) 900m 付近 C1 (7:00) ~滝ノ又出合 (7:10) ~930m 二俣  
(9:00) ~八瀬森湿原 (11:00) ~八瀬森避難小屋 (11:05)

7/28 (月) 八瀬森避難小屋 (5:00) ~関東森 (5:40) ~1238m 付近下降点  
(6:35) ~1010m 付近二俣 (7:15) ~秋取沢合流 (7:45) ~830m 橋  
(8:40) ~滝ノ上温泉 (10:15)

【地形図】 曲崎山・松川温泉・秋田駒ヶ岳



左) イワナゲットだよーん 中) お函のゴルジュ 右) イワナの塩焼き番



左) 葛根田大滝でマイナスイオン補給中

右) つめの手ごわい壁を登攀、ホールドが乏しい



左) 避難小屋で沈殿



中) 颯爽と秋取沢へヤブに突入! 右) 滝ノ上温泉にて。手にしているのは隠しておいた袋